

2026年6月1日

報道関係 各位

株式会社イオンファンタジー

イオンファンタジー、2025年度の障がい者雇用率「4.6%」を達成 全国で201名のスタッフが活躍、本社の「5人に1人」が障がい者雇用 ～強みを活かす職域開拓と専門職リーダー登用を推進。定着面談で「定着率86.8%」を達成～



株式会社イオンファンタジー（本社：千葉県千葉市美浜区、代表取締役社長：藤原徳也、以下、当社）は、2025年度における障がい者雇用率が過去最高となる4.6%（総雇用人数：201名）を達成したことをお知らせいたします。

当社の障がい者雇用率は2020年度の2.6%から右肩上がりに成長を続け、民間企業の法定雇用率（2.5% ※2026年7月より2.7%に引き上げ）および厚生労働省発表の2025年民間企業の実雇用率2.41%を大きく上回る4.6%に達しました。

この高い雇用実績は、本社における「従業員の5人に1人（約20%）が障がい者雇用スタッフ（計45名）」という先進的なオフィス環境の実現と、「全国の店舗での積極的な職域開拓・雇用推進」が一体となった取り組みの成果です。また、2025年度より新たに「店舗定着面談」を開始した結果、同年度における障がい者手帳をお持ちの方の定着率が「86.8%」という高い水準を記録いたしました。

当社では、障がい者雇用を単なる社会的義務の遂行に留めず、誰もが能力を最大限に発揮して働きがいを持ってキャリアを築ける環境づくり（DE&I：Diversity, Equity & Inclusion）として位置づけています。

■ 障がい者雇用率・雇用人数の推移（各年度末時点）

当社における障がい者雇用は、ここ5年間で急速に拡大しています。個人の適性に応じた職域開発と、在宅勤務などを組み合わせた柔軟な働き方の導入により、2025年度は前年比+0.4ポイント、5年前と比較して2.0ポイント増の4.6%（201名）へと成長しました。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
障がい者雇用率	2.6%	2.9%	3.3%	3.4%	4.2%	4.6%
障がい者雇用人数	139名	135名	139名	148名	169名	201名

■ 本部スタッフの5人に1人（計45名）が所属。専任部署「ジョブサポート」の取り組み

当社は、2008年より精神障がい者雇用の採用を強化し、2017年3月には本社内に障がい者雇用社員が所属する専任部署「ジョブサポート」を発足させました。

採用前の職場実習制度や、業務レベルをステップアップできる独自のキャリア開発体制を導入した結果、現在では「本部の5人に1人（計45名）」が障がい者雇用スタッフという多様性に富んだオフィス環境を実現しています。ジョブサポートでは、以下の3つの先進的なアプローチにより、社員一人ひとりの持続可能な活躍を支えています。

1. 業務の「3層構造化」と個人の強みに応じたベストマッチング

業務を画一化せず、「定型業務（郵便仕分け、消耗品発送等）」「スポット業務（イベント資材発送、官公庁申請等）」「担当業務（経理、広報、デザイン等の業務）」の3つに細分化し、社員の得意分野に応じて割り振っています。

2. 「専門職リーダー制度」の導入によるステップアップ

リーダーとしての素質がある人材を積極的にチームリーダーへ抜擢。現在は、デザインチームをはじめ、複数のチームで障がいのある当事者リーダーが活躍しています。3～4人のメンバーの進捗管理や体調ケアを任せることで、組織全体の生産性向上とリーダー本人のキャリアアップを両立しています。

3. 安心・安全に挑戦を後押しする、充実したサポート体制

「企業在籍型ジョブコーチ」の社内配置に加え、社外の契約相談員と連携し定期面談を実施。職場での課題だけでなく、家庭や医療面などプライベートな相談についても広く対応。急な体調不良や気分の変化の際にも、通院や休憩を柔軟に取り入れられる勤務体制や在宅勤務での職域拡大にも取り組み、「安心して長く働ける」環境づくりを目指しています。

■ 全国の店舗（現場）での取り組み：最前線から広がる活躍の場とキャリアステップ

当社が運営する全国の「モーリーファンタジー」や「スキッズガーデン」などの店舗でも、障がい者雇用に強力に推進しています。お客様と直接、あるいは間接的に接する店舗運営の最前線において、個人の得意分野や障がいの特性に合わせた職域開発を多角的に行っています。

店舗における主な業務内容

1. **接客・運営サポート**：店舗イベントや季節装飾の準備、安全な遊び場づくりのためのサポート業務
2. **クレンネス**：お客様が安心して過ごせる快適な環境を維持するための、店内・遊具の清掃作業
3. **アミューズメント運営補助**：景品の陳列、メダル回収など、店舗運営に欠かせない業務

早期退職を防止する「店舗定着面談」による定着率 86.8%の達成

店舗での勤務においては、現場の店長やスタッフが日常の業務をサポートすることはもちろん、本部のジョブサポートチームや専門のアドバイザー、外部の支援機関とも密に連携を取り、無理のないシフト設計や体調管理に配慮した環境づくりを徹底しています。

さらに、当社では2025年度より「店舗定着面談」を新たに開始いたしました。これは店舗勤務スタッフの心身の細やかな変化や悩みに早い段階で寄り添い、業務の調整や環境の改善を迅速に図るためのものです。この面談を通じたきめ細やかなアプローチが早期退職防止において大きな効果を発揮し、2025年度の障がい者手帳をお持ちの方の定着率において、86.8%という非常に高い好結果をもたらしました。

■ 活躍事例：障がい者雇用のパート社員から、デザインチームのリーダーへ 人事グループ「ジョブサポート」 高野 哲（たかの さとし）さんのキャリア

現在、「ジョブサポート」のデザインチームのリーダーを務める高野哲さんは、2017年に就労移行支援事業所を通じて、障がい者雇用のパート社員として入社。当社のプレイグラウンド施設の「スキッズガーデン」に配属され、そこでイベントの企画・運営や、店内のポップ製作に関わる中で、上司の勧めでデザイン業務に出会いました。未経験からプロ用のデザインソフト（Illustrator等）の使い方を独学で習得し、その実力が認められて2年後には契約社員に登用。その後、部署異動で忙しい日々が続いたことにより、仕事と障がいのバランスが上手く取れなくなって休職を決断。2カ月ほどのお休みを経て復帰し、総務担当に異動。1年ほど従事した後、「ジョブサポート」のデザインチームリーダーに抜擢されました。現在は、全国の店舗で使用されるイベント告知ポスターやWebバナー、動画編集などのクリエイティブ製作を統括・指揮しています。

【高野哲さんのコメント】

「入社の頃は、まさか自分が『ジョブサポート』のデザインチームでリーダーを務めるようになるとは思っていませんでした。これまで様々な部署で仕事を経験させていただいたことすべてが、今の自分の力になっていると感じています。デザインチームのリーダーになった当初は、つい自分で何でも抱え込んで悩むこともありましたが、メンバーの特性を見極めて信頼して仕事を任せるようになってからは、チームとしての成果が大きく高まることを実感しています。今後は、ジョブサポート全体のマネジメントにも携わってまいります。自分も当事者だからこそできることがあると思うので、上司がサポートしてくれたように障がい者の活躍を支えていきたいと思っています。」



■ 今後の展望：誰もが自分らしく活躍できる社会の実現へ

イオンファンタジーでは、障がい者雇用率を **2030年度までに「5.5%」**へ引き上げることを目標に掲げています。これは単なる数値目標の達成ではなく、国連が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）の「目標8：働きがいも経済成長も」に合致する取り組みです。全国の店舗、および本部のジョブサポートが緊密に連携し、障がいの有無に関わらず、すべての従業員が自らの強みを活かし、いきいきと挑戦し続けられる環境づくりを推進してまいります。当社はこれからも、多様な社員がその強みを存分に発揮し、共に成長し合える「**世界一、働きがいのあるエンターテインメント企業**」を目指してまいります。

● 株式会社イオンファンタジー

「モーリーファンタジー」をはじめ、日本・中国・アセアン諸国の9カ国でアミューズメント施設・プレイグラウンドなど1,311店舗（2026年3月末現在）を運営。

社名：株式会社イオンファンタジー

設立：1997年2月14日

資本金：18億29百万円（2026年2月期）

事業内容：ショッピングセンター内「アミューズメント施設」及び「プレイグラウンド」の運営

公式WEBサイト：<https://www.fantasy.co.jp/>



以上

【報道関係連絡先】経営戦略室 広報・サステナビリティ

TEL：043-212-6188 公式HP：<https://www.fantasy.co.jp/>